平成 25 年度地域ささえあい助成金報告書　記入要領

１．団体情報

「団体名」

正式な団体名称を記入してください。

「職・代表者名」

代表者の役職と氏名を記入してください。（フリガナも記入ください。）

「所在地（代表者住所）」

団体の事務所または代表者の住所を記入してください。

「連絡先」

団体の事務所または代表者の連絡先を記入してください。

「連絡担当者」

本件に関するご担当者が代表者と異なる場合、連絡先を記入してください。

２．助成事業内容

「事業名」

実施した事業の名称を記入してください。

「対象者」

実施した事業が誰のために行ったのかを記入してください。(例. 住民全般、高齢者、障がい児者・児童など)

「実施日・実施場所・内容・参加者数」については、以下の例を参考にしてください

実施日（年月日）	実施場所	内容（簡潔に）	参加者数（名）
H25/10/1	A 市民センター	事前打ち合わせと準備	20 名
H25/10/10	B ホール交流室	どきどきわくわく交流会	110 名
H25/10/20	C 市民センター	反省会	18 名

「具体的な事業内容や成果をご記入ください」

具体的な助成金事業の実施内容を「どのような目的で」、「どのような事業」を行ったかをわかりやすく 300 字以内でご記入ください。ご記入いただいた文章は、原則そのまま「はねっと」に掲載します。ただし、誤解を生じる恐れがある場合や文字数が多い場合などは、修正を加えることがあります。

同じ地域で特別支援学校に通う子どもと普通学校の子どもとは、隔たりを感じることがあります。せめて、日頃のあいさつを交わせるようなきっかけを作りたいと、今回のイベントを実施しました。共生社会ということを教室で学ぶだけではなく、地域の遊びの中で体験できる機会を提供できればと思いました。助成金のおかげで、リトミックの先生を招くことができ、会場も広い交流室を借りることができました。地域のお年寄りの力を借りての昔遊び、ボンランティアによる紙芝居など、子どもたちがリラックスしながら楽しみ、知らないお友達や親同士が自然に交流することができました。(268 文字)

3．ありがとうメッセージ

募金者（市民）に対して 300 字以内でのメッセージをお願いします。ご記入いただいた文章は、原則そのまま「はねっと」に掲載します。ただし、誤解を生じる恐れのある場合や文字数が多い場合などは、修正を加えることがあります。

○内容例

・実施した事業の利用者の声
・実施した事業による効果
・どのような事業を実施できたかという事業内容の報告

障害のある子もない子も地域で一緒に遊べるように、地域のお年寄りによる昔あそび、講師を招いてのリトミック、ボランティアによる紙芝居という企画で「どきどきわくわく交流会」を開催しました。参加した親からは「普段は特別支援学校に通っているので、地域のお友達と遊べて本当に嬉しそうでした」「近所に知らないお友達がいて、これをきっかけにあいさつができそう」そんな感想をいただき、学校を超えて、地域のお友達を作ることができたようです。市民の皆様からいただいた募金のおかげで、地域の子どもたちの輪の広がりができました。ありがとうございました。(263 文字)

5．事業費

事業の収支決算を記入してください。必ず「申込書」と整合がとれるようにしてください。

・「収入」

事業の収入内訳を記入してください。

・「支出」

事業の支出内訳を記入してください。支出の項目名は団体の支出科目に合わせてください。（例．印刷製本費、消耗品費等）